

# 岡 田 宮

—(宝永4年) 1707年 貝原益軒書—

第 12 号

平成3年7月吉日

発行 岡田宮社務所

北九州市八幡西区岡田町1番地

郵便番号 806

電話 621-1898

FAX 621-5530



平成2年10月19日に落成したご社殿と社務所

# 神社 なぜ 問答

(その11)



問 三方(さんぼう)の穴には何の意味があるのでしょうか。またどうして三つしか開いていないのですか？

答 「浮世根問い」という落語を御存じですか。ハツツァンの出任せの質問に知ったかぶりの御隠居が「そもそもヤカンというのは、昔、戦陣でそそっかしい侍があわてて兜の代わりにかぶったところ、矢が当たってカーンと鳴った。そこからヤカンというようになってた」などと奇妙きつてつな語呂合わせで次々に返答してゆく笑い話です。

今回の質問のような、昔からある器物の形状やその名称・いわれを説明するには、ややもするとこの御隠居さんの説明みたくになりかねません。一般に書物で知られる通説や古い書物にもそうした語呂合わせ的な解説がされていることもままあるものです。

「三方」という名称は台の三方に穴が開いているから三方というのだとの説明は、しばしば耳にするところですが、なにか当たり前すぎて、この御隠居さんの説明を聞いているような気がします。

この通説が正しいかどうか調べてみましょう。これを調べるには、長屋の御隠居さんでは頼りない。故実の超御隠居さんともいうべきお方に登場願ひしましょう。伊勢貞丈先生であります。

さてさて、「貞丈雑記」なる書物を紐解けば、ありました、ありました。貞丈先生はこの質問にちゃんとお答えになっておいでであります。

というところで、お屠蘇気分の落語調はこれくらいにして、「貞丈雑記」の「三方」の説明を、その他の古書の説明も参照しながら要約してみましよう。

「三方」のように折敷と台になる胴を重ねて繋ぎ合わせたものを「ついがさね(衝重)」と総称します。折敷と胴を「突き重ね」ところからきた名称です。

この「ついかさね」に四方、三方、供饗(くぎょう)などの種類があり、胴の四方に穴を開けたのを四方、三方に開けたのを三方、開けないのを供饗というのだとあります。

どうやら通説は正しいようで、本来は「三方のついがさね」が略称されて「三方」とよばれるようになったものでしょう。

今日はあまり見掛けませんが、一方、一方

もありました。

穴は「くりがた」あるいは「げんしょう(眼象)」と呼ばれます。

宝珠の形に彫られています。この穴の由来については、「ついかさね」が用いられるようになった始めは、みな四方に大きくくりぬいて、穴の残りの部分をちょうど四本足の台の形にしていたのが、次第に穴が小さく裝飾的になり、また穴の数も変化して三方や二方、一方、また穴のない供饗となりました。穴は、穴に意味があるのではなく、足を残すためにくりぬかれたものだったので。

これが次第に裝飾的になり、穴の数から種類が生じましたが、このうち、四方は特に身分の高い人(大臣以上の膳具)のみの道具とされたようです。そして、三方が広く使用されるようになって今日のように一般的になったものと思われれます。

~~~~~  
問 来る二月二十三日には、皇太子殿下の立太子礼がとりおこなわれるということですが、その際に「壺切御剣」の伝進という御儀があると聞きました。この「壺切御剣」とはどのようないわれの御剣のですか。

~~~~~  
答 昨年の御大礼に続き、本年も皇室の御慶事がありお目出度い限りです。

さて「壺切(つぼぎり)の御剣」ですが、累代の皇太子に伝えられる御守の宝剣です。ただし、その起源は「草薙の剣」のように神



代にまで遡るものではなく、摂関政治の時代に始まり、今日まで傳承される旧儀となったものです。

この御剣は、もと藤原基経（八三六〜八九一、陽成天皇の摂政、宇多天皇の時人臣最初の関白）の太刀であったものが、基経が宇多天皇に献上し、それが皇太子であった醍醐天皇に授けられ、さらに醍醐天皇が即位されると皇太子の保明親王にこれを賜られたのが、東宮御相伝の始まりであるといわれます。

摂関家の専横の時代には、後三條天皇が皇太子の時に、藤原氏の外孫でないことから二十余年もこの宝剣が奉られなかったというところもありました。また皇居の火災や戦乱により、いく度かこの宝剣も被災したり一時的に紛失したとの記録もありますが、立太子の時の山陵奉告の制が廃れた時代にも、この壺切御剣の相伝は絶えることなく続けられました。寛永五年には幕府が御剣の装束を調進し献上したことも記録に見えます。

立太子礼の当日は、午前十時から皇居春秋の間で「立太子宣明の儀」がおこなわれた後、表御座所にお出ましの天皇陛下から皇太子殿下へ御剣の伝進があると拝されます。

これより、この御剣は平素は東宮殿下のお手元近くに奉安され、毎年の新嘗祭に御参列のおりには、東宮侍従がこれを捧持してお供をするのが例であると承ります。

# 夏越祭

(七月二十九日)

夏越の大祓神事を七月二十九日午後六時より執り行います。

社頭に茅の輪を設け、その茅の輪をくぐれば、悪疫を免れ幸福と繁栄とを招来するといふ古式に則った夏越祭を厳修致します。

ご参拝の方は上記の形代に御家族の住所、氏名、年齢とを書いて、各自の息を吹きかけ初穂料を納めお参り下さい。

ご参拝の方には「お札」と「茅」を授与致しますので、魔除として、玄関に奉斎して下さい。

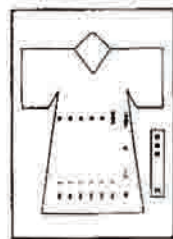
当日、お参り出来ない方は前もって社務所で形代をおあずかり致します。

## 産土木神 守護

お札



形代 (表)



形代 (裏)

# 七五三



七五三祭は、子どもの成育にともない折り目、切り目に神社にお参りして、いっそうの息災成長を祈る行事です。

三歳の祝いを髪置、五歳の祝いを袴着、七歳の祝いを紐落などと称しますが、これらの名称や、その年齢は地方により、時代によって必ずしも一定しません。ともあれ、七五三は江戸時代から、広く行なわれた行事で岡田宮では、十一月十五日を当日とし、その前後を通じてにぎやかなお参りが行なわれます。

なお、平成三年の七五三の年齢は、下記のとおりですので、ご家族おそろいでお参り下さい。

記

- 三歳 平成元年生
- 五歳 昭和六十二年生
- 七歳 昭和六十年生

※年齢はかぞえ年です。



# 郷土地名考 ⑫

新しい地名

黒崎地区は、三菱化成黒崎工場用地、三菱セメント黒崎工場用地、安川電機製作所用地、河頭山地区、帆柱山山陵地区を除いては住居表示制度の施行が完了しており、大字熊手、大字藤田両地区ともに新しい地名で住居表示が行われている。一方、住居表示制の導入で、旧村界が不明になりかかっている処もある。大字引野と大字熊手にまたがっている別所町、大字市瀬と大字熊手の別当町、大字藤田と大字熊手を含む藤田四丁目や東神原町などである。

地名の由来には「古い地名」で示すように種々の場合がある。地名は命名時の夫々その地区の成立・地形・状態・位置等々に關係を有している。そのため、その地区の歴史を考える上では重要な要素の一つをなしており、地域の地勢を知る上でも重要なヒントを与えている。反面、中には現在の居住者にとって、何等かの意味で、不快感を与える可能性のある場合も皆無とはいえない。河頭山はゴートに意味がありカワガシラでは地形を表さないが、ゴートが強盗を連想させるところより町名に於いては川頭(カワガシラ)とされ

ている。現在ではなくなっているが「水溜」を「汐崎町」と改名したのも同じ趣旨によっていた。地名を町名として用いる場合、仮令それが地籍地名であっても、慎重な配慮が必要とされる由縁である。地名は位置を表示するものであるので、旧前の地名とかけ離れたものであってはかえって混乱を招く場合も生ずるであらう。住居表示の地名はそれ等を考慮して決定されたものでなければならぬ。

## 岡田神社崇敬会

### ご入会のご案内

謹啓 氏子、崇敬者の皆様方には益々御健勝の事とお喜び申し上げます。

常々、当社の護持運営につきましては平素より格別の御賛助を賜り厚く御礼申し上げます。

当社も五十年に一度の記念事業が無事終了いたしました。ご社殿も立派になり、参拝者も非常に増え、御神威の発揚、唯感謝の至でございます。

現在、当社では毎朝、日供祭(神前に御食事を差し上げる神事)を御奉仕し、多くの方々のご健康と繁栄等を祈願しておりますが、氏子総代一同協議の結果、より多くの氏子崇敬者

にお誘い申し上げようと此の度、崇敬会を結成する事に相成りました。そして、より一層充実した神社運営を計り、又、次世代を担う子供達の育成の為、誠に恐縮に存じますが、深いご理解とご賛助をお願い申し上げます。

平成三年五月吉日

岡田神社宮司 波多野 直之  
岡田神社総代会会長 末 益 友之助  
岡田神社総代会 他総代一同 敬 具

### 一、目的

岡田神社の護持運営、神社祭典の一層充実、秋季大祭の奉納子供相撲、稚児行列等。

どんど焼祭(せんざい)、餅つき、餅まき、福引き等)

### 一、特 典

岡田神社で毎朝行なわれる日供祭(神前に御食事を差し上げる神事)に於て、奉賛者の一年間の健康と繁栄等を祈願致します。又、岡田神社の最も貴い祭事であります秋季大祭に特別ご招待致します。

岡田神社社務所又は神社総代にお申込み、又はお問い合わせ下さいませ。

### 一、加入方法

奉賛金は年、一口千円です。お一人何口でも結構です。(この奉賛金は任意であります)

※ 奉賛金は岡田神社氏子総代会で責任を持って運用させて頂きます。

口座番号 郵便局 福岡五一七二二八八  
筑邦銀行黒崎支店 普通預金一五三一七〇一

名称 岡田神社崇敬会

## 編集後記

●本年度より岡田神社崇敬会を総代一同協議の結果発足する事になりました。ご入会いただいた方々の一年間の家内安全、繁栄等を毎朝ご祈願いたします。多くの方々のご入会をお待ちしております。

●好評の「神社なぜなぜ問答」皆様のおたくさんのおたよりをお待ちしています。

●祝祭日には国旗を掲げましょう。

●一日、十五日には神社にお参りしましょう。